

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第324回

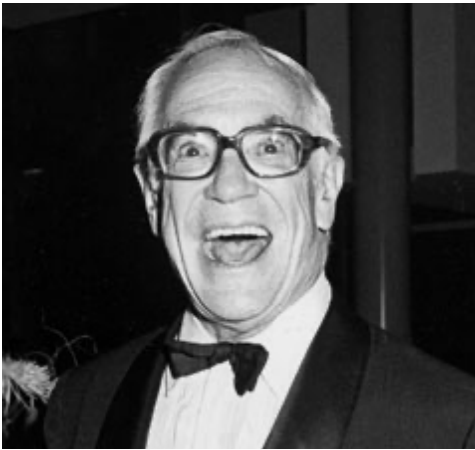
マルコム・フォーブス

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年9月26日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

Failure is success
if we learn from it.

失敗から学ぶことができれば、

その失敗は成功だ。

マルコム・スティーブソン・フォーブスは、アメリカ合衆国の実業家・政治家である。父のB・C・フォーブスが創刊した経済誌『フォーブス』の発行人として知られる。

Column

これまでも似た内容の言葉を紹介したことがありますが、やはり重要であり未来に向かって様々な経験を重ねている真っ最中みなさんの世代には何度でも伝えたいことだと思い、今回の言葉を紹介します。

失敗から人は多くのことを学びます。しかし、失敗した瞬間には今回の言葉のように『むしろ成功だ！』とはなかなか思うことができません。きっとこの失敗が自分を成長させる経験になるはずだとは思っているものの、やはり目の前で起きた失敗に対するショックを受け入れる難しさと“まずはしっかり振り返って反省してからだ！”という考えからすぐに切り替えようという発想にさえならない人も多いのかもしれない。私はこれまでの人生の中で多くの失敗を経験しました。その後、再挑戦することとしないことがあります。再挑戦しても失敗に終わることもありますし、失敗を繰り返すことで挑戦を続けることを諦めたり何度失敗しても諦めずに挑戦を続けることもあります。再挑戦することとしないことの違いはどこにあるのでしょうか。確かに様々な物事に対して“拘る”ということは非常に重要です。そして、できることなら全て自分の思うような道筋での成功（クリア）を積み重ねて自信と経験に繋がりたいと考えます。ですから、失敗した時にその事実を受け入れきれず意地になり、いつの間にか“拘ることに拘っている”という状態に陥っているのではないかと私は考えました。

ここまで述べていく中で、サッカーの本田圭佑選手の『成功にとらわれるな、成長にとらわれる』という言葉思い出し、“失敗から学ぶ”ということをごどのように理解するかが重要だと感じました。最短距離でゴールすることはあくまでも成功の一つの形です。ベストでもありません。理想と違う結果でも捉え方ひとつでポジティブに変換することは可能だと思います。例えば課題Aの失敗の原因が課題Bの初挑戦で活用できた時に初挑戦の成功と自分の経験を活かしたという成長を感じる意味での成功で2倍の喜びがあるのではないのでしょうか。自分自身を支えながら積極的にトライしていきたいものですね！